○○市立○○小学校

**校内における音楽科授業時の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン**

○○小学校音楽部　Ver.R4.4.1

１．音楽授業実施に係る日常の対策

　⑴体調管理の徹底

　　→以下の項目に該当事項がないか健康観察等で確認し、症状が少しでもある児童は活動を控える。

　　①発熱感（37.5℃以上ある場合は下校する。）②咳や喉の痛みなど風邪の症状

　　③だるさや息苦しさ　④体が重い、疲れやすい。

　⑵対策の周知

　　→歌唱活動や管楽器を用いた指導を行う際の対策を予め児童と保護者に周知し、理解を得て行う。

２．授業場所の対策

　⑴窓は常時開放し、換気を行う。

　⑵椅子・机は同方向に向かって並べ、向かい合う隊形は避ける。

　⑶児童間の距離は、前後左右最低約１ｍを目安に確保する。

　⑷授業終了後に、使用した椅子や机、譜面台等の消毒を行う。

３．歌唱を伴う授業における対策

　⑴常時マスクを着用して歌唱する。（マスクと口の間にすき間があり、呼吸しやすいものが望ましい。）

　⑵大声での歌唱は避け、資料「歌声の大きさ表」を参考に適切な声量で歌うよう心がける。

４．管楽器の使用を伴う授業における対策

　⑴授業の前後に必ず手指の消毒、もしくは石鹸等での手洗いを行う。

　⑵リコーダーを使用する際は次のことに留意する。

　　①演奏専用マスクあるいは大人用の大きめのマスクを用意し、「窓」（上部前面の四角い穴）をマスクで

覆う形で演奏する。

　　②ハンドタオルを用意して膝（机）の上に置き、管体から出た水分を適宜取り除けるようにしておく。

　　③リコーダーは定期的に持ち帰り、家庭で水洗い、消毒等をしておく。（学校では行わない。）

　⑶鍵盤ハーモニカを使用する際は次のことに留意する。

　　①演奏専用マスクあるいは大人用の大きめのマスクを用意し、歌口（ホース先端の黒い部分）をマスク

で覆う形で演奏する。

　　②専用のハンドタオルを用意して膝（机）の上に置き、ホース連結部等から出た水分を適宜取り除ける

ようにしておく。

　　③使用後は専用のハンドタオルで包み込みながらホースを本体から外し、水分を拭き取ったらすぐにケ

ース等に片付ける。

　　④鍵盤ハーモニカは定期的に持ち帰り、家庭でホースの水洗いや、本体の消毒等をしておく。（本体は

水洗いすると錆びてしまうので、家庭に周知しておく。）

５．その他

　校内での感染が疑われる児童が出た場合、児童の行動や活動についての情報提供が求められる。実施上の

対策について、明確に示せるようにすることが大切である。実施の可否については、地域や学校の感染状

況を考慮して判断する。